

東京都大田区の町工場が立ち並ぶ一面に水龍堂のオフィス兼作業場がある。代表である佐藤友亮氏が2022年に立ち上げた水中ドローンなど海洋分野の機器を扱うベンチャー会社だ。オリジナルの水中ドローンの製作、販売などで独自の存在感を發揮。23年度には大田区の新製品新技術コンクールで奨励賞を獲得した。業績も順調で、佐藤代表によると「黒字化も秒読み」段階。企業規模拡大も視野に入りつつある。

エリア発

水龍堂



オリジナルの水中ドローン「龍頭」と佐藤代表

水中ドローンで独自の存在感

同社が展開する水中用ドローン「龍頭」は、最大潜水深度300mを誇り、ユースターの要望に応じたさまざまなカスタマイズが可能。主に湖水や河川での利用を想定しており、標準装備を想定しており、標準装備とセットで導入すると、浮

遊物の多い湖水などでも明瞭な画像を得ることができ。現在、さらに大型化した新型機の開発も進めているという。同社は水中ドローン以外にも水中光通信装置や水中クラウドファンディングの「FUNDINNO」に登場。注目を集め2500万円を調達した。会社設立時の計画を上回る勢いで順調に業績を伸ばしており、黒字転換も近い。今は佐藤代表が1人で切り盛りしているが、黒字転換後は従業員を雇用するなど会社規模の拡大も考えているという。

ナビゲーションソフトの開発支援、他の既存機種の改修など、水中調査に関する業務を幅広く手掛ける。10年以上にわたりこの分野に携わる佐藤代表の専門知識を生かし、顧客に合ったコンサルティングサービスを提供する。23年度に大田区の新製品新技術コンクールで獲得した援助を使い、本年度は「CSPI-EXPO2024」第6回建設・測量生産性向上展などの展示会にも積極的に出展し知名度を高める。5月には投資型

●株式会社水龍堂
□所在地—東京都大田区羽田1丁目19の17
□電話—03・6423・6264
□ホームページ—<https://suiryudo.com/>
【会社概要】
観測機器の専門商社などに勤めていた佐藤友亮代表が2022年に設立。水中ドローンだけでなく海洋調査機器の開発、販売、レンタル、コンサルティングなども手掛ける。23年度の第35回大田区新製品新技術コンクール奨励賞。株式投資型クラウドファンディングでも高い評価を得た。